

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

(1) 新設組織の概要	2
① 新設組織の概要 (名称、入学定員 (編入学定員)、収容定員、所在地)	2
② 新設組織の特色	3
(2) 人材需要の社会的な動向等	3
① 新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	3
② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	4
③ 新設組織の主な学生募集地域	4
④ 既設組織の定員充足の状況	5
(3) 学生確保の見通し	5
① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	5
② 競合校の状況分析 (立地条件, 養成人材, 教育内容と方法の類似性と定員充足状況)	8
③ 先行事例分析	12
④ 学生確保に関するアンケート調査等	12
⑤ 人材需要に関するアンケート調査等	13
(4) 新設組織の定員設定の理由	13

(1) 新設組織の概要

① 新設組織の概要（名称、入学定員（編入学定員）、収容定員、所在地）

新設組織	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地
仙台赤門短期大学 鍼灸手技療法学科	50	0	150	宮城県仙台市青葉区 荒巻字青葉33-1

② 新設組織の特色

ア 新設組織の特色

当法人は1948年以来、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の養成を目的に専門学校学科として運営してきた。新たに短期大学に「鍼灸手技療法学科」を一学科として設置する計画であり、これによりあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師養成の高等教育機関の学科としては全国で初めての設置となる。この学科は、基礎医学を基にした東洋医学の知識と技術を深く教授し、高い人格を兼ね備えた医療人を養成することを目指すと共に、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師として最新の知識と技術をもとに社会のニーズに貢献できる専門家を養成する。鍼灸手技療法学科は、以下に示す専門性を兼ね備えた人材を養成し、社会に貢献することを目的としている。

【養成する人材像】

- A スポーツ選手のコンディショニング、アクティブな高齢者の健康維持増進、要介護の高齢者の病状の進行抑制など様々な場面であん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師として活躍できる人材。
- B 医師、看護師・スポーツ指導者など様々な職種の人とコミュニケーションをとりながら、論理的に鍼灸手技療法の効果を伝えることのできる人材。
- C 健康・運動・スポーツ・医療分野であん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師として、実践的な臨床能力を身につけ、丁寧に病状を説明して治療にあたることのできる人材。

イ 既設組織の概要

仙台赤門短期大学の看護学科は、2018年4月に開学した。超高齢社会が進む東北地方で、療養の場が「医療機関から暮らしの場」へシフトし、看護師に求められる役割も変わりつつある。赤門短期大学看護学科は、3年間を通して時代の変化に適応し、東洋医学と看護学を取り入れた実践力のある看護師養成に力を入れている。

仙台赤門短期大学 看護学科

既設組織	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地	新設組織開設後
仙台赤門短期大学 看護学科	80	0	240	宮城県仙台市青葉区 荒巻字青葉 6-41	継続

学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校 鍼灸マッサージ東洋医療科

専門学校	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地	新設組織開設後
仙台赤門医療専門学校 鍼灸マッサージ東洋医療科	50	0	150	宮城県仙台市青葉区 荒巻字青葉 3 3-1	2025 年 4 月学生募集の停止、 2027 年 3 月学科廃科予定

(2) 人材需要の社会的な動向等

① 新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

ア 全国的、社会的動向

日本国内の高齢化により、医療費用が増えてきており、それに伴いあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、の療養費も増加している。厚生労働省の「あはき療養費の料金改定資料」によるとあん摩マッサージ指圧師平成 23 年度 560 億円、令和元年度 750 億円、はり・きゅう平成 23 年度 352 億円、令和元年度 437 億円と増加している。

〔資料 1：あはき療養費の推移〕

また、療養費増加に伴い、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の人数も増加している。厚生労働省公式ウェブサイトによると、あん摩マッサージ指圧師平成 22 年度 104,663 人、令和 2 年度 118,103 人、はり師平成 22 年度 92,421 人、令和 2 年度 126,798 人、きゅう師平成 22 年度 90,664 人、令和 2 年度 124,956 人と増加している。

〔資料 2：あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の年次推移〕

今後も高齢者の増加に伴い、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の療養費を利用した治療の需要の増加が見込まれる。それに伴い引き続き、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の人数も増加が見込まれる。

イ 地域的、社会的動向

宮城県、山形県、岩手県、青森県、秋田県、福島県の 1 人当たり医療費の 2016 年～2021 年増加傾向が見られる。宮城県は 1 人当たり医療費が 2016 年 828,510 円、2021 年 842,258 円と増加している。宮県県のあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の療養費は 2016 年～2019 年は増加している。宮県県のあん摩マッサージ指圧師 2016 年療養費用額 849,512 円、2019 年療養費用額 969,722 円、はり師、きゅう師 2016 年療養費用額 78,027 円、2019

年療養費用額 125,862 円。2020 年～2021 年はコロナウイルスの影響もあり、訪問マッサージ、訪問鍼灸のように自宅に訪問する回数が減少したことで、療養費も減少したと考えられる。

〔資料 3：都道府県別医療費の状況（1 人当たり医療費）、療養費等の状況(療養費の支給)〕

2023 年以降コロナウイルス対策が進み、訪問マッサージ、訪問鍼灸の治療は増加していくと考えられる。

宮城県には、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格団体として宮城県鍼灸師会、宮城県鍼灸マッサージ師会がある。東北地方では、東北鍼灸マッサージ師会連合会、日本あん摩マッサージ指圧師会東北地区がある。それらの 4 団体から仙台赤門短期大学に鍼灸手技療法学科の開設を望む要望書を頂いている。

〔資料 4：職能団体 4 団体から鍼灸手技療法学科設置に関する要望書〕

② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

全国の 18 歳人口の推移は 2023 年 110 万人から 2035 年 98 万人と減少する。今後も令和 22 年まで減少が予想される。短大入学者は平成 5 年 25 万人をピークに減少し、令和元年 5 万人となっている。大学進学者は平成 5 年 55 万人から年々増加し、令和元年 63 万人となっている。

〔資料 5：18 歳人口と高等教育機関への進学率等の推移・18 歳人口の将来推計〕

東北地方の 18 歳人口予測は、2023 年 75,379 人から 2035 年に 60,112 人と減少する。宮城県の 18 歳人口予測は、2023 年 19,930 人から 2035 年に 17,140 人に減少する。

今後も全国的、東北地方、宮城県は、緩やかに 18 歳人口の減少が予想される。

〔資料 6：18 歳人口予測（全国：東北：2023～2025 年）〕

③ 新設組織の主な学生募集地域

学生募集地域は、宮城県、山形県、福島県、青森県、秋田県、岩手県の東北地方を想定している。あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の 3 つの資格を取得できる大学、短大が現在東北地方に存在しないため、それらの地域であん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格取得を目指すときは、本学の新設組織を目指す学生が多いと考えられる。既設組織の仙台赤門短期大学 看護学科の実績として 2023 年 4 月入学者 61 名の内 宮城県 42 名、青森 3 名 秋田 2 名、岩手 6 名 福島 1 名 山形 7 名がいる。学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校 鍼灸マッサージ東洋医療科の 2023 年 4 月入学者 38 名として 入学者 38 名の内 宮城県 28 名、青森 1 名、秋田 1 名、岩手 2 名、福島 0 名、山形 1 名、東北地方外の県 5 名がいる。既設組織・学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校でも東北地区からの入学生が多く入学している。そのため、学生募集地域を東北地方とした。

添付データ・新設組織が置かれる都道府県への入学状況 短大、私立大学、国立大学

〔資料 7：新設組織が置かれる都道府県への入学状況 短大、私立大学、国立大学〕

④ 既設組織の定員充足の状況

下記の表で、既設組織の入学者充足率は、令和3年度96%、令和4年度98%、令和5年度76%で3か年平均0.9倍である。学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校 鍼灸マッサージ東洋医療科の入学者充足率は、令和3年度100%、令和4年度94%、令和5年度76%で3か年平均0.9倍である。

仙台赤門短期大学看護学科

入学年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学者充足率
令和3年度	80	175	154	124	77	0.96
令和4年度	80	177	158	124	79	0.98
令和5年度	80	111	106	100	61	0.76

学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校 鍼灸マッサージ東洋医療科

入学年度	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学者充足率
令和3年度	50	67	67	50	50	1.00
令和4年度	50	51	50	50	47	0.94
令和5年度	50	39	39	39	38	0.76

〔資料8：既設学科等の収容定員、入学定員の充足状況〕

〔資料9 既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）〕

（3）学生確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

A 資料請求

資料請求者は、令和5年度入試は、1842人、うち受験対象者数681人、うち受験者数81人、うち入学者数43人、受験率0.12人、入学率0.06人

B オープンキャンパス

オープンキャンパス参加者は、令和5年度入試233人、うち受験対象者数144人、うち受験者数55人、うち入学者数43人、受験率0.38人、入学率0.30人

C ガイダンス（進学相談会）

ガイダンス参加者は、令和5年度入試は、513人、うち受験対象者数107人、うち受験者数14人、うち入学者数12人、受験率0.13人、入学率0.11人

D ホームページアクセス数

2022年4月1日～2023年3月31日期間合計 ユーザー数51227人 セッション数76265 ページビュー数189,637のアクセス数があった。

E 高校訪問数

2022年4月～2023年3月の高校訪問数は、60校を訪問した。

F 交通広告

青い森鉄道 ドア横広告2枠 広告掲載期間 2022年4月～2023年3月

三陸鉄道 中吊り広告1枠 広告掲載期間 2022年4月～2023年3月

G Web 広告

令和5年度入試の期間中は、web 広告を実施していない。

H 高校生向け媒体

リクルート、マイナビ、ライセンスアカデミー、js コーポレーション、進研アドの高校生向け紙媒体掲載

〔資料10：既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績〕

イ 新設組織における取組とその目標

A 学校案内リーフレット作成

学校案内リーフレット冊数を前年度の5000部から2000部増刷し、7000部印刷する。資料請求者数の増加、高校訪問時に利用の増加、高校の進路相談室に配布の増加、オープンキャンパス開催時に利用の増加、ガイダンス参加時に利用の増加、高校学校1校あたりのリーフレット郵送数の増加により、リーフレットを増刷し作成する。

B 資料請求

web 広告の実施、交通広告費の増額、リクルート、マイナビ等の高校生向け媒体の広告掲載費の増額、法人総務の広報営業の2名増員により高校訪問数増加により、新設組織の資料請求者は、1300人を目標とする。資料請求者からの入学者数目標は、既設組織の令和5年度入試から受験対象者数、受験率、入学率の割合で計算すると、うち受験対象者数481人、うち受験者数58人、うち入学者数29人を目標とする。

C オープンキャンパス

web 広告の実施、交通広告費の増額、リクルート、マイナビ等の高校生向け媒体の広告掲載費の増額、法人総務の広報営業の2名増員により高校訪問数増加、オープンキャンパス開催回数の増加(R7年度入試対象、(R6年開催):計10回開催予定3/23、5/18、6/22、7/20、8/3、8/24、10/26、11/9、12/14、1/11)、ガイダンス参加回数の増加により、オープンキャンパスの参加者を募集する。新設組織のオープンキャンパスの参加者は、130人を目標とする。オープンキャンパス参加者からの入学者数目標は、既設組織の令和5年度入試から受験対象者数、受験率、入学率の割合で計算すると、うち受験対象者数81人、うち受験者数31人、うち入学者数24人を目標とする。

D ガイダンス(進学相談会)

js コーポレーション、ライセンスアカデミー等の高校生向け媒体の広告掲載費の増額、法人総務の広報営業の2名増員により高校訪問数増加等により、ガイダンス参加回数を増やし、ガイダンスで接触する高校生を増やす。新設組織のガイダンス参加者は、260人を

目標とする。ガイダンス参加者からの入学者数目標は、既設組織の令和 5 年度入試から受験対象者数、受験率、入学率の割合で計算すると、うち受験対象者数 55 人、うち受験者数 7 人、うち入学者数 6 人を目標とする。

E 大学ホームページ更新

新設組織のホームページは、3 月 1 日から公開した。

F ホームページアクセス数

web 広告の実施、交通広告費の増額により、

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日 期間合計目標 ユーザー 55000 人 セッション数 80000 ページビュー数 200,000 を目標とする。

G 高校訪問数

法人総務の広報営業の 2 名増員により、高校訪問回数を増やす。令和 5 年度入試の 3 倍の目標 180 校とする。

H 交通広告

交通広告費の増額により、下記の交通広告を予定している。

青い森鉄道 ドア横広告 2 枠 2024 年 4 月～2025 年 3 月

三陸鉄道 中吊り広告 1 枠 2024 年 4 月～2025 年 3 月

いわて銀河鉄道 ドア横広告 2 枠 2024 年 4 月～2025 年 3 月

阿武隈急行鉄道 網棚上広告 2 枠 2024 年 4 月～2025 年 3 月

J R 山形駅 J-A D ビジョン広告 2024 年 4 月～2024 年 9 月

J R 秋田駅 J-S P O T ビジョン広告 2024 年 4 月～2024 年 9 月

仙台市地下鉄薬師堂駅 広告 2024 年 4 月～2024 年 9 月

J R 長町駅 広告 2024 年 4 月～2024 年 9 月

I Web 広告

web 広告を実施し、下記の広告を予定している。

Google 広告 2024 年 4 月～2024 年 9 月

Instagram 広告 2024 年 4 月～2025 年 3 月

MicroAd 広告 2024 年 4 月～2024 年 9 月、2025 年 1 月～2025 年 3 月

ロジカド広告 2024 年 4 月～2025 年 3 月

J 高校生向け媒体

高校生向け媒体の広告費の増額し、下記の広告を予定している。

リクルート、マイナビ、js コーポレーション、進研アド、さんぽう、チエルコミュニケーション (旧昭栄広報)、ライセンスアカデミーの高校生向け紙媒体掲載する。掲載費用の増額により、掲載ページを 1 ページから 2 ページに増やす。新設学科の特集ページに掲載をする。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数
イの新設組織での新しい広報、学生募集の取り組みにより、下記の入学者を見込む。

A 資料請求者からの入学者数目標

新設組織の資料請求者は 1300 人を目標とする。資料請求者からの入学者数目標は、既設組織の令和 5 年度入試から受験対象者数、受験率、入学率の割合で計算すると、うち受験対象者数 481 人、うち受験者数 58 人、うち入学者数 29 人を目標とする。

B オープンキャンパス参加者からの入学者数目標

新設組織のオープンキャンパスの参加者は、130 人を目標とする。オープンキャンパス参加者からの入学者数目標は、既設組織の令和 5 年度入試から受験対象者数、受験率、入学率の割合で計算すると、うち受験対象者数 81 人、うち受験者数 31 人、うち入学者数 24 人を目標とする。

C ガイダンス参加者からの入学者数目標

新設組織のガイダンス参加者は、250 人を目標とする。ガイダンス参加者からの入学者数目標は、既設組織の令和 5 年度入試から受験対象者数、受験率、入学率の割合で計算すると、うち受験対象者数 55 人、うち受験者数 7 人、うち入学者数 6 人を目標とする。

A,B,C の合計で 59 人の入学者を目標とする。

② 競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

A 競合校の選定理由

競合校の選定理由として学問分野の類似性を重視して選定した。新設組織は、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を養成する短期大学の学科である。北海道と東北地方には、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を養成する短期大学学科、大学の学部学科が設置されていない。全国であん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を養成する筑波技術大学が存在するが、出願要件に視覚障碍の条件があり、入学条件が厳しい。はり師、きゅう師を養成する短期大学は全国に存在しない。はり師、きゅう師を養成する大学は、全国 11 校存在し、北海道・東北地方以外の地域に存在している。その中から、全国の点在している大学の東西のバランスを考え、関東地方で 1 校東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科、関西地方で 1 校森ノ宮医療大学医療技術学部鍼灸学科を選びました。両学校ともはり師、きゅう師を養成する学科があり、学問分野の類似性がある。両大学とも定員数は 60 名、新設組織が 50 名と定員と定員規模の類似性もある。東京有明医療大学保健医療学部の学校推薦型選抜の評定が 3.0 以上としており、新設組織の学校推薦型選抜の評定も 3.0 以上としており、学力層の類似性がある。以上の観点から競合校として選定した。

〔資料 11：私立大学学納金一覧〕

競合校一覧表

所在地	大学	学部・学科	入学定員
東京都	東京有明医療大学	保健医療学部 鍼灸学科	60
大阪府	森ノ宮医療大学	医療技術学部 鍼灸学科	60
宮城県	仙台赤門短期大学	鍼灸手技療法学科	50

B 競合校との比較分析

a 教育内容と方法

東京有明医療大学と森ノ宮医療大学ははり師、きゅう師の2つの国家資格を目指せるカリキュラムとなっており、あん摩マッサージ指圧師の知識や治療技術を学ぶ科目がない。新設組織は、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、と3つの国家資格を目指せるカリキュラム内容となっており、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の知識と治療技術を学ぶことができるため、新設組織に優位性がある。

b 入試

入試については、東京有明医療大学は学校推薦型選抜を1回のみ実施する。新設組織は、学校推薦型選抜を3回実施する。森ノ宮医療大学は学校推薦方選抜が指定校推薦選抜のみであり、公募制推薦選抜を実施していない。新設組織は、公募制推薦選抜を実施する。入試制度の多様化により、様々な受験者が受験しやすい入試制度となっているため、新設組織に優位性がある。

c 学生納付金、奨学制度などの修学支援の内容

初年度納付金は、東京有明医療大学が1,950,000円、森ノ宮医療大学が、1,850,000円、新設組織が1,650,000円。卒業時までの納付金は、東京有明医療大学が7,800,000円、森ノ宮医療大学が7,010,000円、新設組織が4,450,000円。学生納付金の金額は、新設組織が低いため、新設組織に優位性がある。

d 就職支援の内容

森ノ宮医療大学のホームページに、有効求人件数が2022年度417件と記載されている。また、就職支援でポイント1が低学年からのキャリア育成を重視、ポイント2個別指導の強化、ポイント3で最新の就職情報を公開としている。東京有明医療大学のホームページに有効求人件数の記載がなかった。また、就職支援内容として、手厚い個別指導、就職ガイダンスの実施、キャリア支援セミナーの開催がある。学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校 鍼灸マッサージ東洋医療科の有効求人件数は、2021年度、2022年度計537社からあった。新設組織の就職支援内容として、キャリアセンター（キャリア支援委員会）と学年担任で協力し、個別指導、就職ガイダンス、就職対策・キャリアセミナーを実施予定。競合校と比較して就職支援内容は同様の支援をする。

e 取得できる資格

東京有明医療大学と森ノ宮医療大学は、はり師、きゅう師と2つの国家資格のみ取得を目

指せる。新設組織は、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師と3つの国家資格の取得を目指せるため、新設組織に優位性がある。

f その他

東京有明医療大学の近隣に、はり師、きゅう師を養成する東京都の帝京平成大学鍼灸学科、静岡県の常葉大学健康鍼灸学科の2校が存在する。森ノ宮医療大学の近隣に、はり師、きゅう師を養成する大阪府の関西医療大学はり灸・スポーツトレーナー学科、京都府の明治国際医療大学鍼灸学科、兵庫県の宝塚医療大学鍼灸学科の3校が存在する。仙台赤門短期大学の近隣の東北6県、北海道にはり師、きゅう師を養成する大学、短期大学が1校も存在しない。そのため、近隣の学校と競合することがないため、競合校と比較して優位性がある。

〔資料11：私立大学学納金一覧〕

競合校学生納付金比較表

所在地	大学	学部・学科	入学金	授業料施設費合計	初年度学生納付金
東京都	東京有明医療大学	保健医療学部 鍼灸学科	300,000	1,650,000	1,950,000
大阪府	森ノ宮医療大学	医療技術学部 鍼灸学科	250,000	1,600,000	1,850,000
宮城県	仙台赤門短期大学	鍼灸手技療法学科	250,000	1,400,000	1,650,000

イ 競合校の入学志願動向等

下記の表から、東京有明医療大学は、3年間の入学者充足率が0.70倍となっている。森ノ宮医療大学は、3年間の入学者充足率1.07倍と1倍より多い。「3.学生確保の見通し」アの競合校との比較分析から新設組織の優位性の中で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師と競合校より1つ多く国家資格を多く取得を目指せること。新設組織の卒業時までの学生納付金が約3,000,000円以上低いこと。新設組織の近隣にあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格取得を目指せる大学、短期大学が存在しないことにより、新設組織で定員充足が十分可能と考える。

東京有明医療大学 保健医療学部 鍼灸学科

入学年度	入学定員	収容定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率	入学者充足率
令和3年度	60人	240	52人	51人	46人	42人	0.78	0.70
令和4年度	60人	240	45人	44人	42人	42人	0.79	0.70
令和5年度	60人	240	54人	51人	45人	43人	0.73	0.71

森ノ宮医療大学 医療技術学部 鍼灸学科

入学年度	入学定員	収容定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率	入学者充足率
令和3年度	60人	240	171人	168人	87人	59人	1.04	0.98
令和4年度	60人	240	236人	231人	73人	70人	1.08	1.16
令和5年度	60人	240	207人	119人	110人	64人	1.05	1.06

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等

競合校の森ノ宮医療大学の過去3年間は、入学定員が充足している。東京有明医療大学は、過去3年間の入学定員は70%と充足していない。東京有明医療大学と新設組織を比較したときに、「3.学生確保の見通し」アの競合校との比較分析なかで、新設組織の方が優位性が高いと判断できる。理由として、新設組織は、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師と3つの国家資格を取得を目指す。東京有明医療大学ははり師、きゅう師と2つの資格のみ取得を目指す。卒業時までの学生納付金が新設組織が東京有明医療大学より3,000,000円以上低いこと。新設組織の学生募集地域の東北地方にあん摩マッサージ、はり師、きゅう師の資格取得を目指す大学、短期大学が存在しないこと。東京有明医療大学の近隣にはり師、きゅう師を養成する大学が2校存在していること。以上の理由から新設組織で学生募集をしたときに、競合校と比較して優位性があり、新設組織の定員充足が十分可能と考える。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

はり師、きゅう師を養成する私立大学令和7年度入試学生納付金一覧〔資料11〕によると、はり師、きゅう師を養成する11の私立大学の初年度学生納付金平均金額は、1,790,455円、卒業時までの学生納付金平均金額は、6,665,455円となっている。新設組織の初年度学生納付金は、1,650,000円、卒業時までの学生納付金は、4,450,000円とした。あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション学部以外）分野で、宮城県の仙台青葉学院短期大学の言語聴覚学科の初年度学生納付金は、1,650,000円、卒業時までの学生納付金は、4,450,000円としている。厚生労働省資料の都道府県別賃金〔資料12〕によると、関東地方と関西地方に比べて、東北地方の賃金は低い。そのため、地方の所得水準を考慮して、学生納付金の金額を低く設定する必要がある。11の私立大学は、はり師、きゅう師の2つの国家資格を取得目指せる学科であるが、新設組織は、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の3つの国家資格の取得目指せる学科である。新設組織の学生納付金を低く設定し、学生の経済的負担が少ないことで、学生が新設組織を選択しやすいことで、入学定員が充足することを重視した。

〔資料11：私立大学学納金一覧〕

〔資料12：令和4年賃金構造基本統計調査の概況 都道府県別賃金〕

③ 先行事例分析

該当なし

④ 学生確保に関するアンケート調査等

今回の入学意向アンケート調査では、高校への郵送調査と並行して、より新学科への入学意識が高いと思われるオープンキャンパスや高校内ガイダンス、会場型高校ガイダンス、個別相談会の来場者及び資料請求者に対し、アンケートを実施した。アンケート調査概要

A 入学意向アンケート 高校2年生対象 高校郵送調査

〔資料13：入学意向アンケート 高校2年生対象～高校郵送調査～〕

B 入学意向アンケート 高校2年生・社会人対象 ～オープンキャンパス、高校内ガイダンス、会場型高校ガイダンス、個別相談会来場者、資料請求者～

〔資料14：入学意向アンケート 高校2年生・社会人対象 ～オープンキャンパス、高校内ガイダンス、会場型高校ガイダンス、個別相談会来場者、資料請求者～〕

A 入学意向アンケート 高校2年生対象 高校郵送調査

学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校に入学実績のある高校を選定し、事前にアンケート実施の可否を高校側に確認したうえで第三者機関に依頼し、アンケートを実施した。48校から合計6,030枚の回答結果が得られた。今回の学生確保の見通しの審査の厳格化に伴い、以下のクロス集計を行い慎重に分析を実施した。問4(進路志望)において、本学の設置形態である「1私立短期大学」を選択した回答者に限定し、さらに問5(興味のある学問系統)において、鍼灸手技療法学科の学問分野である「1保健衛生学(鍼灸、あん摩マッサージ指圧、理学療法、作業療法など)」を選択した回答者に限定したうえで、問6(受験志望)と問7(入学希望)のクロス集計を行った。その結果条件を満たす入学者は16名確認された。

〔資料13：入学意向アンケート 高校2年生対象～高校郵送調査～〕

B 入学意向アンケート 高校2年生・社会人対象 ～オープンキャンパス、高校内ガイダンス、会場型高校ガイダンス、個別相談会来場者、資料請求者～

信頼性の高い情報の獲得をするため、学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校が開催するオープンキャンパス、個別相談会来場者、資料請求者や、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の分野を希望する高校生への高校内ガイダンス説明会、会場型高校ガイダンス説明会など、複数のチャンネルでアンケートを実施した。結果の公平性を担保するために、集計は第三者機関に委託した。各オープンキャンパスやガイダンスのイベントは1年間を通して開催しているが、今回のアンケート実施した期間は、2023年10月～2024年1月であった。今回のアンケートは、2023年4月～2023年9月のオープンキャンパス参加者やガイダンス参加者にアンケートを実施していないため、その期間にアンケートを実施していた場合は、今回より多く条件を満たす入学者を集計可能であ

ったと考えられる。

学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校に資料請求者していた高校 2 年生 655 名、社会人 267 名、合計 922 人に対し、個別に調査表を送付し、返送のあった調査表を調査対象とした。

A の入学意向アンケートと同様にクロス集計を行い、慎重に分析を実施した。その結果、条件を満たす入学者は、42 名となった。そのうち、社会人は 17 名であった。

〔資料 14：入学意向アンケート 高校 2 年生・社会人対象 ～オープンキャンパス、高校内ガイダンス、会場型高校ガイダンス、個別相談会来場者、資料請求者～〕

A と B の調査を通じて、58 名の進学ニーズを把握することができ、入学定員 50 名を上回る見通しが確認できた。

⑤ 人材需要に関するアンケート調査等

本学が養成する人材の社会的・地域的ニーズについて客観的に把握することを目的に、第三者機関に依頼し、人材需要アンケート調査を実施した。

A 採用意向アンケート調査報告書〔資料 15〕

採用意向アンケートは、学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校に 2021 年～2023 年の間求人への依頼があった事業者に実施した。アンケートを 389 社に送付し、133 社から回答があった。(回答率 34.1%) 学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校は今年で創立 76 年になり、卒業生は、約 9500 名を超える。各都道府県に治療院や介護施設や病院等を開業している卒業生もあり、卒業生の同窓会を通じての卒業生のネットワークも強い。今回採用意向アンケートを実施した会社の中には、卒業生が在籍している会社や開業した会社も多くあり、会社との信頼関係が高い。そのため、採用意向アンケートに協力した会社が、新設組織の卒業生に対しての求人依頼、採用意向は学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校と同じように高いと考えられる。採用意向アンケート結果は、133 社の回答の内、1 人以上の採用意向は、125 社あり、125 社の採用人数の合計は、370 人であった。新設組織の定員は 50 名であり、定員の約 7 倍の採用意向を確認できた。

〔資料 15：仙台赤門短期大学鍼灸手技療法学科（仮称）の設置に関する採用意向アンケート調査報告書〕

4.新設組織の定員設定の理由

① 学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校の鍼灸マッサージ東洋医療科が定員 50 名であったため。学校法人赤門宏志学院が運営する仙台赤門医療専門学校は、今年で創立 76 年になり、日本で初めて、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を養成する厚生労働省認可、宮城県認可の専門学校として設立された。1990 年（平成 2 年）から、

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の3つの国家資格を同時に目指せる鍼灸マッサージ東洋医療科を開設し、その時に定員50名とした。鍼灸マッサージ東洋医療科は、1990年～2024年の今年まで定員は50名で専門学校を運営していた。1990年～2021年までは、定員50名に対して毎年50名以上の受験者があり、入学者も50名を下回ることにはなかった。

②(2)の中で、あん摩マッサージ指圧師、はり師、休止の療養費が年々増加していること。日本の高齢化状況を考えると、今後も療養費の増加が考えられるため、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の需要は今後も増加が見込む。

③(3)等の新設組織における取組とその目標の中で、新設組織の学生募集は、既設組織の学生募集より、法人総務の広報営業の2名増員、web広告費増額により掲載数増加、交通広告費増額により掲載数の増加、学校案内リーフレットの増刷、高校訪問数の増加、オープンキャンパス開催数の増加、ガイダンス参加回数の増加を行う。それらの学生募集活動で、より多くの高校生と接触し、新設組織の学科の魅力を伝え、入学者の確保を見込む。資料請求者からの入学者数目標は、29人。オープンキャンパス参加者からの入学者数目標は、24人。ガイダンス参加者からの入学者数目標は、6人。合計59人の入学者を目標とする。

④(3)等の競合校の状況分析の中で、新設組織が競合校と比較して優位性が高いと考える。競合校の3年間平均の定員充足率は、東京有明医療大学が、0.77、森ノ宮医療大学が、1.06である。新設組織は、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師と3つの国家資格を目指す。競合校は、はり師、きゅう師の2つのみ国家資格を目指す。新設組織の卒業時までの学生納付金は、競合校の卒業時までの学生納付金と比較して、約3,000,000円低い。新設組織の学生募集地域の東北地方にあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の養成する大学、短期大学が存在しない。競合校は、近隣の都道府県にはり師、きゅう師を養成する大学が存在する。以上の理由から新設組織は競合校より優位性が高く学生募集も優位と考える。そのため、定員充足率も1.00以上可能と考える。

⑤入学意向アンケートは、A 高校2年生対象 高校郵送調査と、信頼性の高い情報の獲得のために、B 高校2年生・社会人対象 ～オープンキャンパス、高校内ガイダンス、会場型高校ガイダンス、個別相談会来場者、資料請求者～で実施した。アンケート期間は、2023年10月～2024年1月の4か月間実施した。Aのクロス集計のアンケート結果は、16名、Bのクロス集計のアンケート結果は、42名であった。定員50名を上回る見通しを確認できた。Bのアンケート実施期間が4か月であったため、4月から9月のオープンキャンパスやガイダンスの開催が多い時期にアンケートを実施できなかったこと。Aのアンケートについて、問7(入学希望)で、1:入学するが24名、2:志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学を希望するが72名いた。問4(進路志望)で、1:私立短期大学に進学

582件（10.4%）、2：私立大学に進学（43.7%）、5：専門学校に進学（40.2%）となり、1：私立短期大学を選ぶ方が少なく、クロス集計をしたときの入学希望者人数が少なかった。しかし、新設組織の学科を除いて、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家資格を目指す養成学校は、東北地方の大学、短期大学、専門学校に存在しない。そのため、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を目指す学生がいたときは、大学や専門学校を検討していた学生の中も、新設組織に入学する学生がいると考える。

⑥採用意向アンケートで、東北地方や関東地方の企業からあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師を資格者の求人採用意向がととても強かった。あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の療養費が年々増加している。そのため、今後も高齢者医療や地域医療の社会的な需要に対して、採用意向の会社側は、新設組織で養成するあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格保有者を求めている。また、宮城県、東北地方のあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の資格保有者団体からも鍼灸手技療法学科の開設を望む要望書が届いている。

以上の①～⑥の理由で新設組織の定員を50名に設定し、定員50名の充足も十分可能と考える。